

Citizen activity information magazine

三浦市民生活向上会議会報

〒238-0102

神奈川県三浦市南下浦町菊名1258-3

三浦市総合福祉センター

電話 046-888-7347

発行：社会福祉法人三浦市社会福祉協議会

発行責任者：出口 道夫



VOL.3

第三回ボラ活動推進部会の開催について

去る四月二十五日、第三回ボランティア活動推進部会が開催されました。テーマはアンケート用紙の設定。今までにない斬新な調査用紙ができあがりしました。

アンケートをとりま

ボラ計画策定に向けて議論を進めてきましたが、ボランティア・市民活動に関するより多くの意見を取り入れるために、三浦市民向けアンケートをとることにしました。

また、このアンケートを通して、これまで事務局が提案し、話し合ってきたボランティア・市民活動振興のために社協が果たすべき5つの機能が、実際のニーズに則しているものなのかを知りたいと考えています。

* * *

今回作成しているアンケートは、素人用と経験者用の2種類です。設問は、潜在的にボランティア活動に興味を持つ市民

と、既にボランティア活動を行っている市民が、それぞれボランティア活動に対しどのような意識やニーズを持っているかを問うものになっています。

* * *

三浦市社協では、ボランティア活動の振興のために三浦市社協が果たすべき機能を、「①情報」「②ヒト」「③モノ・場所」「④カネ」「⑤ボランティアセンター（ボランティア保険など、ボラセン独自の役割）」の5つであると仮定しています。

今回のアンケートでこれらの機能を中心に市民のニーズを調べ、それらの機能は本当に必要とされているのか、更に、その中で整備が急がれる優先順位や、具体的に何が求められているのか等を知り、第2次ボランティア

活動推進計画に反映させたいと考えています。アンケートをとる対象については、三浦市民から無作為に抽出したいと思います。数については、三浦市約一万七千世帯の十分の一と、千七百人程度を想定しています。

漫画を使っています

アンケート回答の負担感を減らすため、また、イメージの統一を図るために、素人用は漫画を、経験者用は挿絵を多く取り入れました。



漫画を使った斬新なアンケート用紙

アンケートをやってみて

事務局の試作品を、部会で試しにやってみました。

イラストによって設問の内容がイメージしやすいくという意見がありました。回答欄が見づらく、分かりにくくという意見もありました。調査対象について、地域や年代による違いを見てみたという意見も出ました。また、石川委員（市協働推進課）からは、「市との共同調査として検討したい」との意見があり、今後調整していく予定です。これらの意見を参考に、修正し、実施に移していきたいと思えます。

その他検討・報告事項

◆ボランティア団体等助成金について

ボランティア活動推進委員は、ボランティアセンター運営委員会の委員も兼ねています。今年のボランティア団体・地域ふれあいサロン・福祉当事者団体への活動助成事業の概要について事務局から説明し、各団体に提出して貰う申請・報告書類の様

式や今後の実施予定等について確認しました。

◆委員の交代

旧 中山賢一（教育委員会）
新 松岡由紀（同）

中山さん、お疲れ様でした。松岡さん、これからよろしくお願い致します。



第3回ボランティア活動推進部会の様子

今後の予定

◆社協職員・市役所職員へアンケートを実施します。アンケートの回答傾向を知り、全体のデータ予測に活かしたいと思えます。また、三浦市在住の方の回答については、有効回答数に含めたいと思えます。

◆四月二十四日に、ボランティア

イア団体等助成金申請書類を各団体へ郵送しました。提出締切は五月十八日です。

◆三浦市社協HPに、ボランティア団体・当事者団体の情報掲載欄をつくりまします。現在、三浦市社協に登録している各団体から情報を集めています。

NEWS&TOPICS

三浦市社協の活動・様子についてお知らせします。

◆三月二十八日 HUGくみ春の遠足

品川エブソンアクアスタジウムに行きました。（参加者二十二名）

◆三月三十一日 どんまい調理実習



豚肉料理専門店「やぶれかぶれ」で調理実習を終えたメンバーが、作田社長と記念撮影。

米が浜通り「やぶれかぶれ」にて、調理実習をして頂きました。

◆職員研修

◇四月一五日 事例検討会

スーパーバイザーとして

富岡貴生氏（KCN理事長・唐池学園 貴志園施設長）にお越し頂き、どんまいと地域活動支援センターの事例について話し合いました。

◇五月十三日 障害者虐待防止法研修

講師として田中晃氏（相談支援センターゆいまーる所長）にお越し頂き、昨年新たに策定された障害者虐待防止法について勉強しました。



講師の田中晃氏（相談支援センターゆいまーる所長）

◇五月二十九日 ケアマネ研修

ケアマネージャーと社協

職員を対象に、「地域包括ケアシステム」その考え方や課題」についての研修を行います。

◆五月十七日 ふれあいサロン

地域に住む高齢者の仲間づくりの場、ふれあいの場として、地域センターに地域ふれあいサロンがオープンします。

今後ボランティアも募集し、地域住民に親しまれるサロンにしていきたいと思えます。（毎月第三木曜日開催予定）



平成24年度 地域介護予防活動支援事業として、今年度より、みうらふれあいサロンを開催。

◆社協運営の適正化のため実施しています

◇五月十一・十四・十五日

公認会計士監査

◇五月二十五日 監事会

◇五月三十日 理事会

◇五月三十一日 評議員会



社協事業の透明性を確保するために毎年おこなわれている公認会計士による監査。

◆六月十日 じゃが芋掘り 障害児・者及びその付添人を対象とした「たのしい農業体験の集い」新じゃがゴロゴロ収穫祭（三浦ライオンズクラブ主催）が行われます。

◆紙おむつ支給事業再開

三浦市内で在宅生活を送る寝たきり高齢者への紙おむつ支給事業が、本年度より、民生委員協議会のご協力の下、再開することになりました。

編集後記

▼発行が遅れてしまい申し訳ありませんでした。届いた際は、アンケートにご協力お願い致します（杉崎）